

動物は、背骨をもつ(1)動物と背骨をもたない無(1)動物に分けます。背骨のない昆虫やエビなどは、体の外が骨にあたる殻でおおわれていて、内側にある筋肉を使ってからだを動かします。このような骨組みを外骨格といい、背骨をもつ動物のように内側にある骨と筋肉を使って体を動かす骨組みは内骨格といいます。

無セキツイ動物

無セキツイ動物はとて多くの種類があります。体のつくりはとても簡単でいろいろな形をしており、やわらかい体や殻をもった動物たちがいます。



クラゲ



イソギンチャク



ナマコ



ヒトデ

①からだがやわらかい動物

イカ・タコなどは、体がやわらかいつくりのため、軟体動物とよばれます。サザエやアサリなどはやわらかい体を硬い殻で守っています。マイマイ(カタツムリ)は陸に住む貝のなかまです。



イカ



タコ



アサリ



マイマイ

②からをもつ動物

からだを外側の殻で支えるつくりを(2)骨格といい、その中で足に節がある動物を(3…?動物)といいます。エビ・カニ・昆虫やくもなどがそのなかまです。その数はとても多く、地球上のあらゆるところにすんでいます。



エビ



カニ



アリ



クモ

セキツイ動物

からだの内側にある骨とつながった筋肉を使って体を動かす骨組みを(4)骨格といいます。

魚類



マグロ



イワシ



サケ

水中で生活するのに適したからだの形をしています。マグロやイワシのように一生を海でくらすもの、メダカやコイのように淡水(真水)でくらすものがあります。さらに、川でふ化したあと海で成長するサケや、海でふ化したあと川で成長するウナギのように、一生の中で生活場所を変化させるものもあります。

水に溶けた(5…気体名)を、えらでこし取って呼吸するえら呼吸です。

両生類



カエル



イモリ



オオサンショウウオ

カエル・イモリ・サンショウウオなどのなかが両生類です。魚類が進化して陸上に上がったと考えられています。子のときは水中で生活するためえら呼吸ですが、親になると(6…体の器官名)呼吸になって陸上で生活します。そのため、水辺から離れた乾燥した場所では生きていけません。また、オオサンショウウオは国の特別天然記念物に指定されているため、勝手に捕まえたり飼ったりすることはできません。

ハチュウ類



ヘビ



ヤモリ



カメ

両生類が進化して、乾燥に強いうろこや甲羅をもったようです。一生を陸上の広い範囲ですごします。体温の調節ができないため、気温が下がると冬眠します。地球の氷河期に祖先の恐竜たちは絶滅し、現在まで生き残っているハチュウ類は、ヘビのなかま・ワニのなかま・カメのなかまの3つだけのようです。卵も陸上で産むため、その卵には乾燥を防ぐための殻があります。

鳥類



カラス



ペンギン



ダチョウ

翼をもち、飛ぶことができます。そのため、骨の中は空洞になっていて、体のつくりが軽くなっています。

ペンギンやダチョウは飛びませんが、泳いだり走ったりするのに適した体のつくりをもっています。大きな進化は(7)を一定に

保つことができるようになったことです。そのため、気温が下がる冬も動き回ることができます。

ほ乳類



ヒツジ



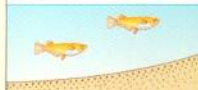
トラ



サル

母親が子に乳をあたえて育てるのがほ乳類です。その多くは体が毛でおおわれていて、前足と後ろ足の4本の足で体をささえています。ヒトもほ乳類ですが、2本の足でささえています。大きな進化は、母親の胎内で育てるため親と同じすがたで生まれてくることです。

まとめ

とめ	A	B	C	D		
	な か ま	魚 類	両生類	は虫類	鳥 類	ほ乳類
生活場所	 メダカ・フナ サケなど。	 カエル サンショウウオ など。	 トカゲ・ヘビ ヤモリ・カメ ワニなど。	 ニワトリ ペンギン スズメ・ツバメ など。	 イヌ・ネコ ウシ・サル コウモリなど。	

表を見て、A～Dの記号で答えなさい。

○卵に殻があるものとないものの境目は(8)です。

○子どもが親と同じ姿かたちで生まれてくるかどうかの境目は(9)です。

○親が子育てをするものとしないものの境目は(10)です。

○体温が一定の恒温動物と、体温が変化する変温動物との境目は(11)です。

○足が体の横についているものと、体のほぼ下についているものの境目は(12)です。

ジャイアントパンダ・ゴリラ・トラなどは絶滅の恐れがあるため、一切の売り買いが禁止されています。そして、このような野生動物を守るための条約が(13…? 条約)です。180以上の国や地域がこの条約を結んでいます。



動物のえさ

植物を食べる動物

植物の根・茎・葉・実を食べるほか、花粉や花の蜜、くきを流れる汁、木の樹液を食べるものもいます。このような植物質のものをえさにする動物たちを(14…? 動物)といいます。

○ミツバチの成虫…花の蜜や花粉 ○アブラムシ…植物の(15…上の文から選ぶ)

○カブトムシ…クヌギやコナラの(16…上の文から選ぶ) ○マイマイ…いろいろな植物の(17…上の文から選ぶ)

○コアラ…(18…植物名)の葉



動物を食べる動物

動物を食べる動物たちを(19…?動物)といいます。また、昆虫^{こんちゅう}の中には、ほかの昆虫^{こんちゅう}をえさにするだけでなく、貝や魚をえさにするものがあります。

○トンボの幼虫のヤゴ…ボウフラなどの水中の動物 ○ホタルの幼虫…(20…貝の種類)

○テントウムシ…(21…ノーヒント) ○ペンギン…イワシなどの魚 ○ライオン…シマウマなどのほ乳類

動物と植物の両方を食べる動物

ヒトやサルのように、動物と植物の両方をえさにする動物たちを(22…?動物)といいます。ペットの犬や猫は、動物と植物の両方を食べることがありますが、もともとは肉食^{にくしょく}の動物です。

○サル…木の実や昆虫^{こんちゅう} ○メダカ…水中の小さな植物や動物 ○クマ…ドングリや魚など